



平野 広行 議員
政新会

問 名古屋競馬場と弥富市の関係は

答 組合・関係機関と協力

○令和4年4月に名古屋競馬場が弥富市で開場するにあたり以下を問う。

問 本市における名古屋競馬場の役割は。

答 (市長) 地域の活性化や賑わいを創出し、税収につなげていく。

問 競馬場施設の進捗状況は。

答 (市民生活部長) 予定通りのスケジュールで進んでいる。

問 本市との災害協定は。

答 (総務部長) 平成26年に馬事会館の協定締結。その他駐車場スペース、ヘリポート用地、レースコース内の放牧場の一角を要望。協議調整中。

問 名古屋競馬場の開場に向け本市の体制整備は。

答 (市民生活部長) 関係各課が連携しながら対応。今後は担当課を明確化する。

問 魅力ある競馬場づくりへの本市の関わりは。

答 (市長) イベント広場での事業開催は可能なので、競馬組合や関係機関と連携して共催開催や不定期開催を考える。

問 愛知県競馬組合への加入の方向性は。

答 (メリット・デメリット) メリット・デメリットを十分に検討した上で判断。

問 競馬法第1条の見解は。

答 収益金を分配できていない状況にあり、現時点では、地方財政の改善を図るための目的の達成に至っていない。

問 競馬組合加入負担金において、出資金の起債に関する考えは。

答 (総務部長) 応分負担となり、出資金ではないので、起債による借入は困難である。

問 名古屋競馬の売り上げ推移等、将来展望について本市の考えは。

答 (市長) 売り上げが急激に落ち込むことはないと思われるが、古くなった厩舎が手付かずであり、想定外のこともある。

問 本市は名古屋競馬場と、どのような形で進むのがベストと考えるか。

答 市の財源確保のため、地域の活性化や賑わいを創出していく。市外にアピールする絶好の機会として、競馬組合や関係機関と協力し検討していく。

※競馬法第1条 馬の改良、増殖、その他畜産の振興に寄与するとともに、地方財政の改善を図るために行う競馬に関し、規定するものとする。



▲建設中の名古屋競馬場